

# 広島平和祈念式典に中学生派遣



中学生代表に激励金を手渡す小矢部平和委員会 8月5日、石動駅前

小矢部市は平和教育の一環として今年も、広島平和祈念式典に中学生8名を派遣しました。これは、砂田市議の質問がきっかけとなって実現されているものです。

石動駅前8月5日に開かれた出発式で、桜井市長が激励するとともに、小矢部平和委員会の堀内喜昭代表が激励金を手渡しました。

## 地域経済活性化に役立つ 住宅リフォーム助成を

### 耐震シエルトー 助成を検討したい

砂田市議 住宅リフォーム助成が地域経済の活性化にも役立つ先進地の調査はどうだったか。小矢部市としても実施を。

産業建設部次長 昨年度の実績は、魚津市では申請件数540件で8億3500万円の対象工事に8500万円、黒部市は254件、2億3600万円の工事に1770万円の補助金を交付。高岡市では高齢者世帯や身体障害者世帯に耐震シエルトー、耐震ベッドの補助事業が本年度から実施された。(表参照)

今後、高齢者世帯や身体障害者世帯に対し、耐震シエルトーや防災ベッドの助成を検討したい

先進自治体の住宅リフォーム助成

対象年度	対象工事	対象期間	補助率	補助上限額	実績			
					申請件数	補助金交付額 千円	補助対象 工事費 千円	経済効果 工事費/補助金 倍
2011年度	住宅リフォーム助成	2011. 4. 1- 2013. 3. 31	10%	10万円	540	85,000	838,266	10
2011年度	住宅リフォーム助成	2011. 4. 1- 2013. 3. 31		一律5万円	354	17,700	339,000	19
2012. 5月末現在	住宅リフォーム助成	2012. 4. 1- 2014. 3. 31	20%	20万円	117	21,100		
2012. 5月末現在 申請なし	耐震シエルトー設置支援	2012. 4-	50%	20万円				

補助金の10倍から20倍近い経済波及効果

6月議会報告

## 石動駅のバリアフリー化を 小矢部市が重点要望

小矢部市は7月に真、国などに對して2013年度予算に関する重点要望をしました。この中で石動駅のバリアフリー化について、一日の乗降客が5千人以上から3千人以上に緩和されたことから石動駅は3153人、2010年度実績、2014年度着上に向けて検

討されていることが明らかになりました。

新日本婦人の会小矢部支部は毎年予算要望の中で石動駅のバリアフリー化を要望しており、砂田市議も3月議会予算特別委員会での問題をとり上げました。

## 発達障害児の相談・支援について

砂田市議 発達障害は親のしつけや愛情不足、家庭環境のせいではなく、生まれつきの脳機能障害であり、早く手立てをしないと脳が完治しないが、軽くすることはできる。早く対応する必要があるのは大人になってからの社会的な適応障害を防ぐためである。

これまで小矢部市の発達障害児の相談支援活動の到達点をふまえながら、今後のさらなる改善の課題についてこの提案をしたい。

提案 保護者が気軽に相談でき、同じ悩みを抱える者同士が交流できる仕組み

砂田市議 行政視察で訪れた丸亀市では発達障害やそのついでな情報交換や出会いの場だった。スタッフは「ついで」を開いて、保護者が市民団体のスタッフと情報交換や出会いの場だった。スタッフは「ついで」の方がよいなどアドバイスするのではなく、私の場合、先生に相談したら、わが子が「ついで」したよなど自身の体験を話すことで、相談に訪れた人も何かをつかんでいくよとだ。

ぜひそついつ体制づくりを 努めたい

民生部次長 当市では子ども家庭支援センターが窓口となり、必要な場合には「こあら相談会」軽度発達障害相談、「高度な相談」については高岡児童相談所、きずな学

### インターネット録画開始

#### 市議会本会議

小矢部市議会は7月30日より、本会議をインターネットで録画中継しました。議会改革の一

環です。いつでも好きな時間

帯に、質問者を選んで視聴できます。小矢部市のホームページ「市議会」小矢部市議会のページで「議会中継」とたどりま

園わらび学園などの専門機関と連携している。みなさんの丸亀市視察内容を見て、同じ悩みを持つ保護者同士の横のつながりがとてもよいと思う。その場に専門家の方々がアドバイザーとなってグループカウンセリングがおられた。ぜひ丸亀市に習ってそついつ体制づくりに努めたい

提案 発達障害に気付くアンケートなど早期発見から発達障害相談につながる取り組み

### アンケート方式も 実施してみたい

民生部次長 つつしたアンケート方式も実施してみたい

提案 子どもと常に向き合っている保育士、教員、保護者が発達障害に早く気付く適切な対応するための学習と研修の機会の提供

提案 臨床心理士や保健師などの専門家がすべての保育所、幼稚園、学校などを年2、3回訪問できる巡回カウンセリングの実施

提案 臨床心理士、児童精神科医など専門家の育成、配置と連携

### 県内ブロックごとに専門家の 配置を要望したい

民生部次長 県内では児童の専門の資格を持った方は4名しかいないしかも、ほとんど富山市在住であり、早期に県内ブロックごとの配置に向けて県要望していきたい

巡回カウンセリングは、現在、家庭児童相談員が要望に応じて各保育所に出向いている。直接子どもたちの生活を観察して、必要に応じて専門家も同行し、そこで保護者といっしょにカウンセリングも実施していきたい。

